

施工技術の向上を目指し ガス配管の技能コンクールを開催

京葉ガスは7月30日、当社のガス配管の施工業者を対象とした「京葉ガス供内管工事技能コンクール」を京葉ガス研修センター（市川市）で開催しました。



ガスメーター回りの配管を組む作業員＝7月30日、京葉ガス研修センター

供内管とは、道路に沿って地中に埋設されたガスの「本管」に対し、そこから敷地内や建物にガスを引き込むための管から、その下流側の各器具のガス栓までを指します。供内管工事技能コンクールは施工技術と施工品質の向上を目的に平成21年から隔年で開催しており、今回が3回目となります。

コンクールには京葉ガスの「指定工事店」のうち7社から有資格者14人（2人1組）が出場し、業務用ガスメーターの新設工事を行いました。指定された配管を3時間の制限時間内にいかに正確に、また安全に配慮しながら完成させるかなどが採点され、入賞チームが決定しました。